

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公開番号】特開 2004-322058 (P2004-322058A)

【公開日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報 2004-045

【出願番号】特願 2003-124653 (P2003-124653)

【国際特許分類】

C 0 2 F 1/00 (2006.01)

F 2 8 F 19/00 (2006.01)

F 2 8 F 19/01 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 1/00 V

C 0 2 F 1/00 T

F 2 8 F 19/00 5 1 1 A

F 2 8 F 19/00 5 0 1 A

F 2 8 F 19/00 5 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 7 日 (2005.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 9】

【発明の効果】

本発明によれば、トレーサー物質としてリチウムイオンを使用する冷却水系等の循環水系における水処理用薬品濃度管理方法において、従来の方法では 正確な濃度測定が困難であった被処理水質の変動、特に濃縮倍率の影響が大きい水系においても、水系に添加した水処理用薬品の濃度を容易かつ迅速にしかも精度良く測定することができ、また、簡易な測定装置を用いて現場で実質的に連続的に測定することも可能で、適正な水処理用薬品の濃度管理を行うことが可能となる。なお、循環水系として、代表的なものとして開放系の冷却水系（水冷却塔）を中心に説明してきたが、本発明の方法は、閉鎖系の冷却水系、ボイラー、エバポレーティブコンデンサーなどにも利用することができるのは勿論である。